

みなさまから頂いた意見に対する施策および「とっとり計画」の反映状況について

意見の分類	みなさまの意見	回答
発達障がい	<ul style="list-style-type: none"> 発達が気になるお子さんの相談・支援の為、OT、ST、PT等を配属してほしい。 連携を図り支援をしやすいするため放課後デイサービスを学校に配置してほしい。 小学校低学年を受けもつ教師はもっと発達障がいについて学んでほしい。又は、専門の方の配属し、お子さんご家族をもっと見守り、助けてほしい。 	<p>■OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）、PT（理学療法士）等の専門職はそれぞれの施設が判断し、配置しています。県立の療育機関には必要な人数確保に努めて配置しています。</p> <p>■放課後等デイサービスは、学校や家庭とは異なる時間、空間、人、多様な遊びや体験活動等の機会を提供する目的があります。学校とは異なる場所で施設数の充実などを図っていきます。</p> <p>■発達障がいのある方への指導・支援の充実や特別支援学級等への支援についてとっとり計画へ追記します。なお、教職員の専門性向上については既に計画に記載し進めています。</p>
一時保育	<p>3才半で年少幼稚園に通っており、午後3時～5時まで保育を利用している。母親が6月に出産し、産後も子守で寝れない。出産後は母親が働いていないので保育を使えないとのことだが夫、祖父母ともにフルタイムで働いている。午後5時まで預かっただけなのはとても安心で子どもも大変喜んでいる。なんとか出産後も午後3時～5時の保育を利用できないか？せめて週3～4日でもあずけたら嬉しい。</p>	<p>■保育所の利用については、各市町村において利用方法等が決められているところです。国においては、現在保護者の就労を要件としない「こども誰でも通園制度」の本格実施に向けて検討が進められるなど、多様な保育サービスの充実が図られており、県としては、円滑な保育サービス提供のため、保育人材の確保と定着に向けた取組を進めていきます。</p>
少子化対策	<ul style="list-style-type: none"> 妊産婦への手厚い支援、産後ケアの充実が必要 助産師や保育士の待遇改善をやっていくべき 	<p>■とっとり計画の4（2）①ア・ウに医療従事者の処遇改善及び産後ケアの充実について、②アに保育従事者の支援制度について記載し、取組を進めています。切れ目のない妊娠・出産支援を強化し、相談窓口の一層の周知を図っていきます。また、保育士の処遇改善についても国へ要望しています。</p>
自習スペース	<p>平日の放課後に集中して勉強できる学校から近い場所がほしい。</p>	<p>■県はこれまで、県立図書館の研修室、県民ふれあい会館のロビーの一角に自習スペースを設置し、また自習で利用できる公共施設を一覧にまとめ、県内の高校に配布などをしてきました。引き続き、公民館等の既存施設を活用しながら地域全体で居場所作りを支援していきます。</p>
給食費	<p>義務教育の間、給食費を無料にしてほしい。</p>	<p>■現在国で令和8年度小学校給食費の無償化、中学校についても速やかな実施を検討されています。</p>
交流	<p>地域での交流が増えてみんなで一緒に子育てしたい</p>	<p>■地域の資源、人材を活用した子どもの居場所や親子の相談、交流拠点づくりを進めていきます。</p>

意見の分類	みなさまの意見	回答
体験活動	いろいろな体験ができる場所があり子育てしやすい環境づくりが大切だと思う。	■県においても、子どもたちの興味のあることをテーマとした体験活動を実施し、様々な団体が支援や体験イベントを実施されていますので、イベントの情報発信をしていきます。
育児休業	女性が活躍する社会を目指す、少子化対策という言葉は常日傾耳にするが、実際女性の方が稼ぎが多い家庭は損をする仕組みがあることに疑問を感じている。 共働きで主たる家計支持者が女性で、男性が職場環境の関係で育児休業の取得ができない場合、女性が育児休業を取得すると、育児休業中は家賃補助もなくなり子の扶養手当ももらえない。男性が主たる家計支持者で女性が育児休業をとる場合よりも1ヶ月で3～4万円もらえるお金に違いがでる。女性が活躍する世の中にと謳い、女性の管理職を増やすということをしなから、女性が稼ぐことで男性が稼ぐ家庭より得られるはずの収入が減っている現状は知られているのか。	■扶養手当をはじめとする家族手当など、企業が独自に従業員に対して講じる法定外福利厚生制度については、世帯主の選択や勤務先において生計維持者が夫婦のいずれに認定されるかなど、個別の事情によって異なるものと認識しています。一方、企業によっては共働き世帯が多数を占める昨今、家族手当の廃止など見直しを検討されるところも現れ始める中で、国においては育児休業に対する給付制度や課税免除措置など育児世帯に対する経済的支援をはじめとする仕事と家庭の両立支援策が講じられているところです。県としては、育児における夫婦の「共育て」を促進していくため、国・市町村、経済団体等と連携して企業に対する男性育休取得促進を含め、引き続き男女問わず子育てしやすい職場環境づくりを働きかけていきたいと考えています。
結婚に対する意識	県が少子化対策として、マッチングや結婚のサポートを行っているが、マッチングをして終わりではなく、将来ずっと仲良くあり続けられる夫婦が増えるよう、そこまで見据えてほしい。現在、結婚、出産、子育てに対するマイナスイメージが世間には広まっている。（経済的負担が大きい、自分の時間が持てない等。）子どもがいるだけで家庭や社会は明るくなるのだから、経済的負担等懸念事項はあるかもしれないが、それ以上に感動があることを発信していかなければならない。島根県では仲が良かったり地域貢献に取り組んでいたりするパートナーを紹介する事業を行っている。鳥取県でも先輩夫婦の明るい姿や生活を紹介して、若者に結婚や出産、育児への希望を持ってもらえるような事業を参考にしたいと思う。	■当県では、結婚は個人の自由な意思決定によるものであることを前提として、結婚を希望する方に向けた各種支援を行っています。国立社会保障・人口問題研究所が行った調査（2021年・第16回出生動向基本調査）によると、「いずれ結婚するつもり」と回答した独身者は、男女いずれも8割を超える等、結婚を希望している方が多く、そうした方に対して当県では、主にとっとり出会いサポートセンター「えんトリー」を通じて支援を行っています。えんトリーが令和7年度に、開設から10周年を迎えることを機に、えんトリーのサポート等を通じて結婚された夫婦にインタビューを行ったり、成婚・交際まつわるポジティブな体験談を募集したりして、これらをデジタル事例集としてSNSを通じて発信することで、若い世代の方にも結婚・妊娠・出産・子育てを前向きに捉えていただくきっかけを提供したいと考えています。
子育て支援	子育て支援の充実	■子ども・若者の良好な成育環境の実現と、多様な価値観・考え方を前提とした若い世代の結婚、子育てへの希望が叶うよう施策に取り組んでいきます。
いじめ	いじめやコソコソ話が多い。そのいじめのせいで傷ついたり不登校になっている人がいるのでいじめはなくせるものではないが減らせたらいいと思う。	■いじめをしない、させない、許さない意識を育てるため、特別の教科「道徳」の指導の充実を図ることとしており、とっとり計画の4(3)「④いじめ防止。心のケアの充実」の「取組の方向性」に道徳学習の充実を追記します。

意見の分類	みなさまの意見	回答
熱中症	<p>中学生の熱中症対策について、小学校までは帽子を被って登校するが中学校に入ると帽子の着用がなくなる。近年の暑さは地球沸騰化と云われ身の危険を感じる程。学校では暑さ指数などで屋外での活動を調整しているが、帽子の着用など直接身を守る対策は学校のきまりにはない。他県の教育委員会では日傘やネッククーラーの使用を推奨しているところもある。熱中症から直接身を守る対策は必要だと思う。どうかご検討ください。</p>	<p>■いただいたご意見を踏まえとっとり計画の4(3)①「カ 安全・安心の通学環境」の「現状と課題」及び「取組の方向性」に熱中症予防について追記します。</p>
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> • 子育てにお金がかかる。 • ファミリーカー助成や入学の節目などでのランドセル購入補助、教材購入補助によるお祝い金が欲しい • 子どもが病気になった時の付き添いの支援をしてほしい。 • お金の面でも精神的な面でもツライ。 	<p>■チャイルドシート購入費助成（県内7市町）や育児パッケージ支給事業（南部町、日野町）入園祝事業（若桜町）など市町村独自で行う子育て支援を財政面で応援しています。今後の支援継続と事業内容の拡充について検討していきます</p> <p>■市町村や子育て支援団体と協議し、更なる支援の充実を進めていきます。</p>
交流	<p>小学校を通して地域の高齢者の方と関わる機会、たとえばデイサービスや老人ホームなどに積極的に参加し交流の機会を増やすことや将来介護関係の仕事に就くきっかけにもなるし、高齢者の方々も生きがいや楽しみが生まれると思う。</p>	<p>教育課程に関わることについては、各学校において検討されるため、本計画には記載していませんが、県教育委員会にもご意見を共有しています。</p>
遊び場	<p>屋内外楽しく遊べる場所がほしい</p>	<p>■公民館等の既存施設を活用し子どもの居場所づくりや、親子が気軽に立ち寄れる屋内施設の整備を行う市町村を支援している他、親や子どもの居場所の情報を発信していきます。</p> <p>■鳥取砂丘こどもの国においては3月にレールトレインをリニューアルしたほか、屋内遊具を更新するなど、これからも屋内外で遊べる環境を整備していきます。</p>
フリースクール	<p>公立学校にフリースクールのような自由な選択ができる学校を東中西に1校つくるのはどうか。</p>	<p>■通常の学級での学習等や集団での生活が困難となった不登校（傾向）生徒の支援を行う校内サポート教室を中学校15校に設置しています。小学校での不登校の早期発見、早期対応並びに未然防止、誰一人取り残さない学びの保障に向け、小学校にも設置することとしており、とっとり計画の4(3)⑤「イ 学校以外の学ぶ環境の受け皿づくりの充実」を追記修正します。</p>
通学費支援	<p>通学時のバスや電車の費用が高い</p>	<p>県では公共交通機関の通学定期券を利用して県内高校等に通学する生徒の保護者が負担する通学費を助成（保護者負担を7,000円/月以下に軽減する場合を対象）しております。また、小中学校向けに通学費助成を実施している市町もあります。</p>

意見の分類	みなさまの意見	回答
病院	<ul style="list-style-type: none"> • 病院をふやしてほしい • 病院MAPをつくり、総合病院に人が集まりすぎないようにする 	<p>■医療提供体制の確保に向け、医療人材の確保に向けた取組を進めていきます。</p>
駐車場	<p>雨の日に首の座ってない赤ちゃんを連れて買い物するときに、屋根のある駐車場は限られているので不便だと思うので子育て応援駐車場に置けるようになりよかったですと思った。今度は屋根がつくと嬉しい。</p>	<p>■駐車場での乗降車時の負担軽減と安全確保を目的に、小さなお子様連れの方に優先的に駐車いただける子育て応援駐車場の、更なる設置に向けてご意見と併せ、事業者等へ引き続き働きかけていきます。</p>
情報発信	<p>子どもが小さく、テレビがほとんど見えずEテレしか見てない。そのためニュースを知らない。県として、子育て支援施策についてどういうことをされているのか教えてほしい。</p>	<p>■子育てされている方が支援情報を受け取れるよう、子育て王国とっとりサイトを改修するとともに、必要な情報が必要なタイミングに届くよう情報発信の方法等について検討していきます。</p>
居場所	<p>子どもを連れて集まれる場所がない。ママたちはとにかく集まって情報交換したり、悩みを共有し合いたい。県内に座敷のお店が少ないため、家になると、その家の人負担になる。気軽に集まれる場所がもっと欲しい（隼ラボみたいな施設が鳥取に欲しい）。</p>	<p>■既存の施設を活用し親子連れの方が気軽に立ち寄れる交流拠点づくりを進める市町村を財政面で支援します。また、気軽に集まれる場所の情報が届くよう子育て王国とっとりサイト内に掲載する等検討していきます。</p>
テレワーク	<p>私自身がここに来るまで千葉にいて、テレワークが完全にできる環境だったので、転勤しても復帰しやすい環境だった。送迎のこととか大変なので、県内でテレワークができる会社が増えたらと思っている。</p>	<p>■多様な働き方の導入（独自休暇制度やテレワーク等柔軟な勤務形態の導入、多様な人材活用等）を図る企業の就業規則等整備支援を行っていきます。</p>
一時保育	<p>図書館での託児について、曜日が限定されており時間が短いため預けたいが預けられない。また、需要はあるのにあまり知られていないのでアプリで託児について案内があったら良いと思う。</p>	<p>■図書館での託児についてのご意見は図書館にも共有しています。 ■子育て王国とっとりアプリのプッシュ配信機能や子育て王国とっとりサイトのシステム改修等を通じて、託児の案内等の情報を必要な方へ届けていきます。</p>
在宅育児支援	<p>おうちで子育てサポート事業は、なぜ鳥取倉吉米子は適用されないのか</p>	<p>■3市については予算編成上の都合等の理由により、事業を実施されておりませんが、引き続き市町村の意見を踏まえながら事業の案内及び内容の拡充等を検討していきます。</p>

意見の分類	みなさまの意見	回答
広域入所	<p>保育所の広域入所のことで、まだ鳥取市が広域入所はあまり認めていない。鳥取市の3号認定だけは空いている。八頭に住んでいるが、八頭の人には就労していると鳥取市の保育所には入れないため、3歳になるのを待ってから入ることになる。他にも、八頭の人には1号認定しか認められないため、3歳児は9時から15時の幼稚園時間にしか入れず、それより早かったり、15時より後だと延長料金がかかる。鳥取市は保育園時間で預かっているのだから、同じ保育を受けるのに料金間違いがあって、親に負担がある。鳥取市にも話しているがなかなか動きがない。県からもこのような話があるっていうのを知ってほしい。とても良い保育をしているのでいろんな人が躊躇せずに入れるっていいのじゃないかと思っている。</p>	<p>■鳥取市においては、広域入所の要件を拡充するなどし、多様な保育ニーズに応えられる体制整備に努めている一方で、保育士不足等の課題により、保育所に空きがない（定員の空きがあっても保育士が不足して受入ができない）ことや年度途中の待機児童発生への懸念などから、広域入所が十分受け入れられない状況があります。県としましては、広域入所を促進するためにも、保育人材の確保と定着に向けた取組を進めていきます。</p>
働き方	<p>医療職で、土曜日は患者さんが集中するので休みにくい。平日でも子どもと一緒に病院に行けるように、いろんな職場が子の病院という理由で休みやすくなってほしい。</p>	<p>■子の看護等休暇については、育児・介護休業法の改正施行に伴い、令和7年4月から小学校3年生修了までを対象とするなど取得事由を含めて制度改正が図られることとされています。県としては、あらゆる業種の県内企業に向けて、男性育休取得促進を含め、引き続き男女問わず子育てしやすい職場環境づくりを働きかけていきたいと考えています。また、多様な働き方の導入（独自休暇制度やテレワーク等柔軟な勤務形態の導入、多様な人材活用等）を図る企業の就業規則等整備支援を行ってまいります。</p> <p>■また、企業のファミリーサポート休暇等取得促進奨励金により、男性従業員が「子の看護等休暇」などの休暇を取りやすくなるような職場環境の整備を行っている事業者を支援しており、今後も継続して支援を行っていく予定です。</p>
交通・100円バス	<ul style="list-style-type: none"> • 子ども連れだけが乗れる車両がほしい • バスの本数を増やしてほしい • 100円バスのルートを広げてほしい • 子育て支援センターに行きたい人用に、とりmobiのような子育ての人向けに使いやすい何かがあれば良いと思う 	<p>交通に関する内容ですので、とっとり計画には記載しておりませんが、ご意見は担当課にも共有しています。</p>
学校規則・学校運営	<ul style="list-style-type: none"> • 制服が夏は暑くて冬は寒い。同一市町村で統一して一斉に変える事は出来ないか。また、ジャージや体操服は制服の代わりに出来ないか。 • 更衣室が欲しい • 体育館にクーラーなどが欲しい • 校庭の遊具を増やしてほしい • 学校のトイレをきれいにしてほしい 	<p>学校の運営・規則、校内における設備の整備に関することであり、各市町村教育委員会及び各学校で判断される内容であるため、とっとり計画には記載していません。なお、県教育委員会にもご意見を共有しています。</p>